

令和元年度特別展

樹木年輪と古代の気候変動

9月14日[土] → 11月24日[日]

狭山池博物館・特別展示室

午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日/月曜日(月曜日が祝休日の場合は翌日) 入場料/無料



大阪府立狭山池博物館
Osaka Prefectural Sayamaike Museum

樹木年輪の研究は伐採年の追求のみならず、過去に温暖な年と寒冷な年が繰り返されたという気候変動を明らかにすることがわかっています。米の収穫に頼る日本の歴史に大きな影響を与えた気候変動は、今後の環境変化を予測するうえで非常に重要です。

特別展では、樹木年輪から古代の気候変動や伐採年が判明した木製品などを紹介・展示します。

歴史セミナー

とき ①22日(日)、②11月3日(祝)午後2時～4時30分(開場は午後1時30分) ところ 狭山池博物館・ホール 内容・講師 ①「近年の古代史における暦年代研究をめぐって」西川寿勝さん/狭山池博物館学芸員、「半島の倭系資料からみた暦年代」柳本照男さん/元韓国東洋大学校教授、②「古代の気候変動研究をめぐって」西川寿勝さん、「年輪年代測定標準パターン作成のころ」光谷拓実さん/元奈良文化財研究所客員研究員 参加費 無料 定員 いずれも126人(当日先着順)

問い合わせ 狭山池博物館 ☎367-8891